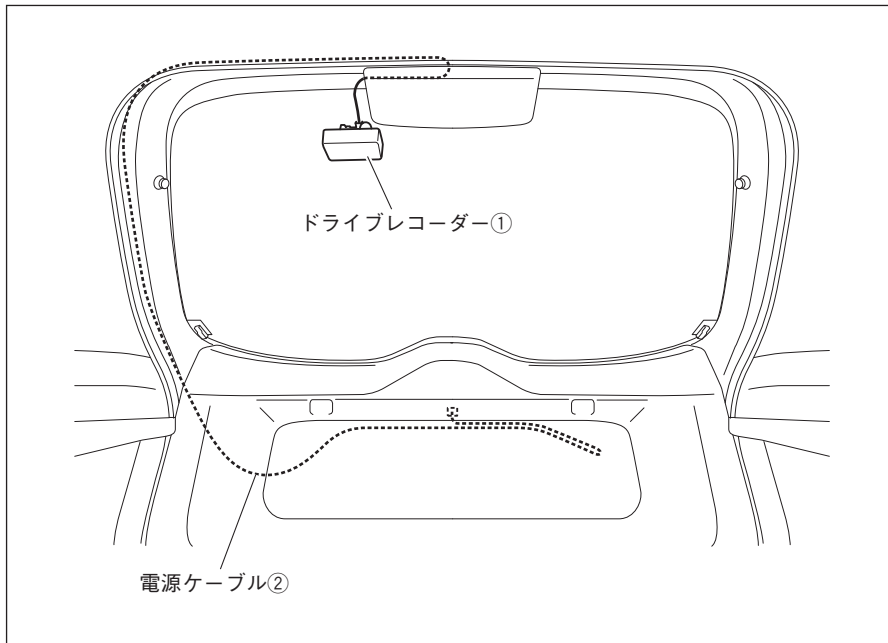
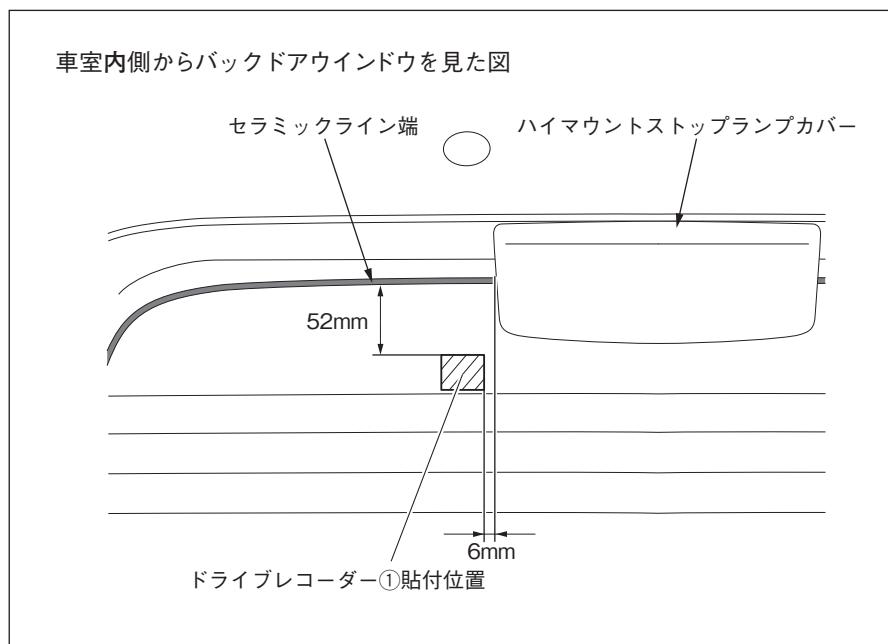


## ■ イグニス

### 1. 取付概要図

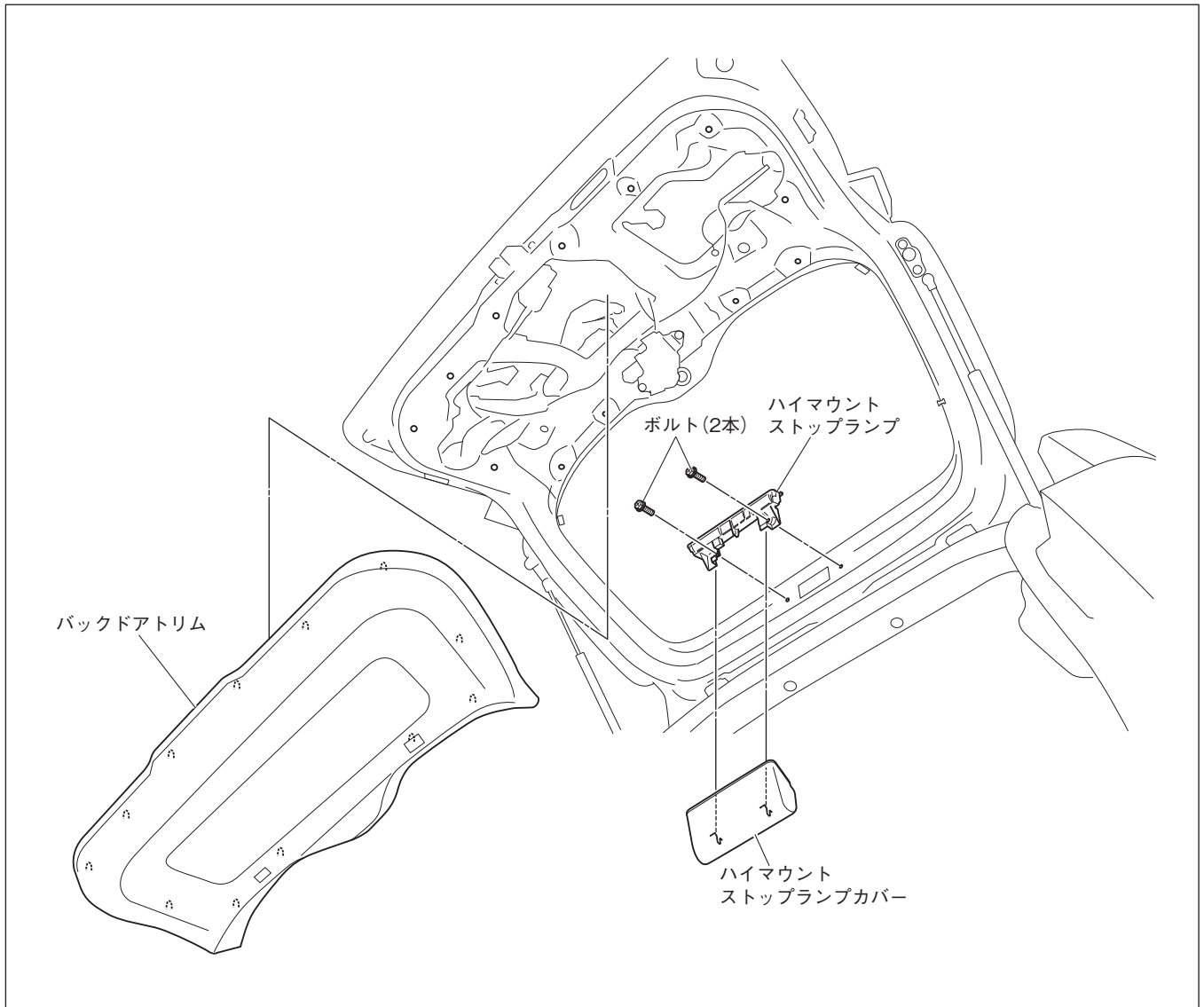


### 2. 取り付け位置



1. ドライブレコーダー①の貼付位置にマーキングをします。

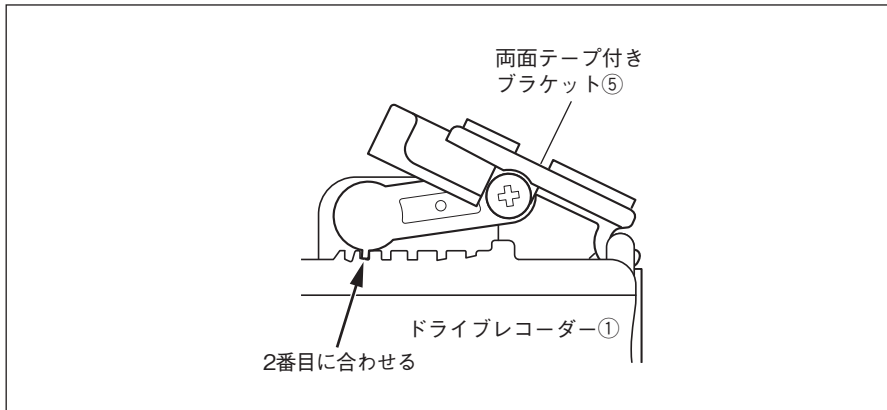
### 3.車両部品の取り外し



1. バックドアトリムを取り外します。(クリップ12箇所)
2. ハイマウントストップランプカバーを取り外します。(ツメ2箇所)
3. ハイマウントストップランプを取り外します。(ボルト2本、コネクター 1個)

## 4. 取付要領

### a. 両面テープ付きブラケットの取り付け



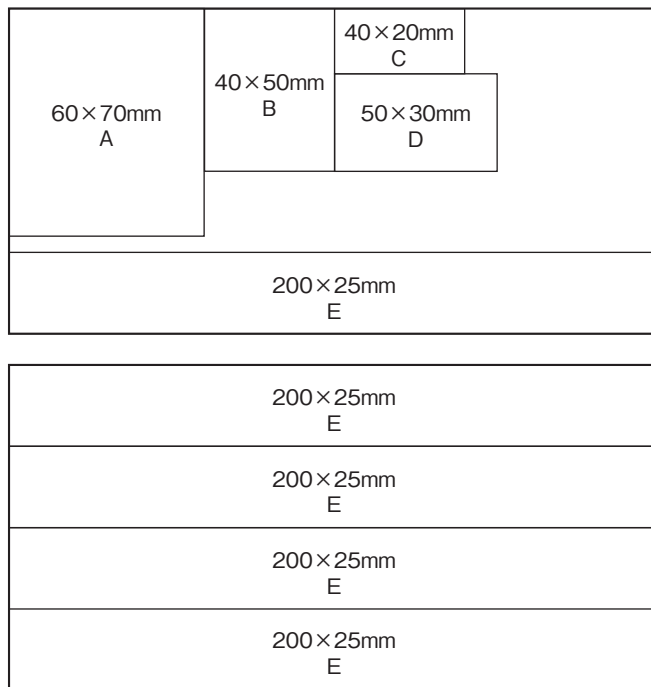
1. 両面テープ付きブラケット⑤をドライブレコーダー①に組み付け、左図の位置に固定します。

#### ▲注意

両面テープ付きブラケット⑤取り付けの詳細は共通編「■ドライブレコーダーの取り付け」の〈両面テープ付きブラケットの取り付け〉を参照してください。

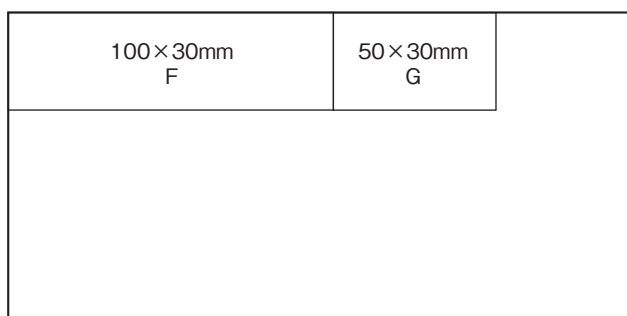
### b. クッションテープおよび保護シートの準備

#### クッションテープ⑧



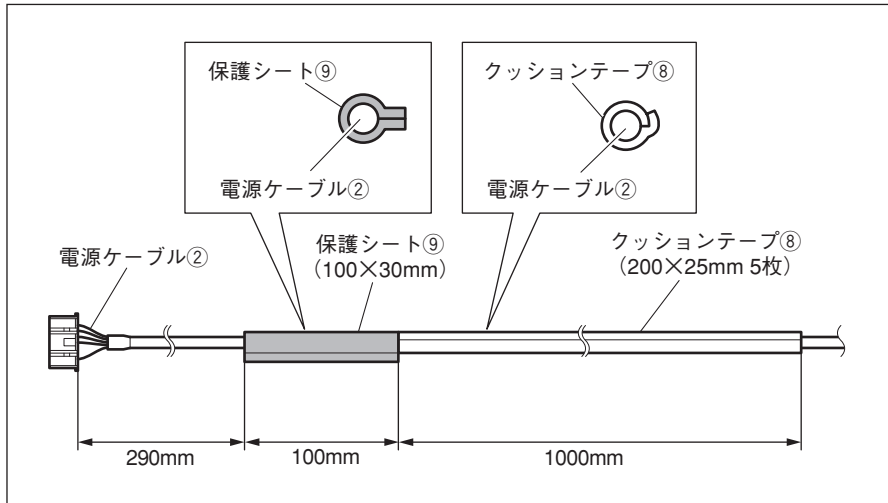
1. クッションテープ⑧を左図のようにカットします。
  - A：電源ケーブル②のヒューズ巻き付け用
  - B：電源ケーブル②のコネクター巻き付け用
  - C：電源ケーブル②固定用
  - D：電源ケーブル②固定用
  - E：電源ケーブル②巻き付け用

#### 保護シート⑨



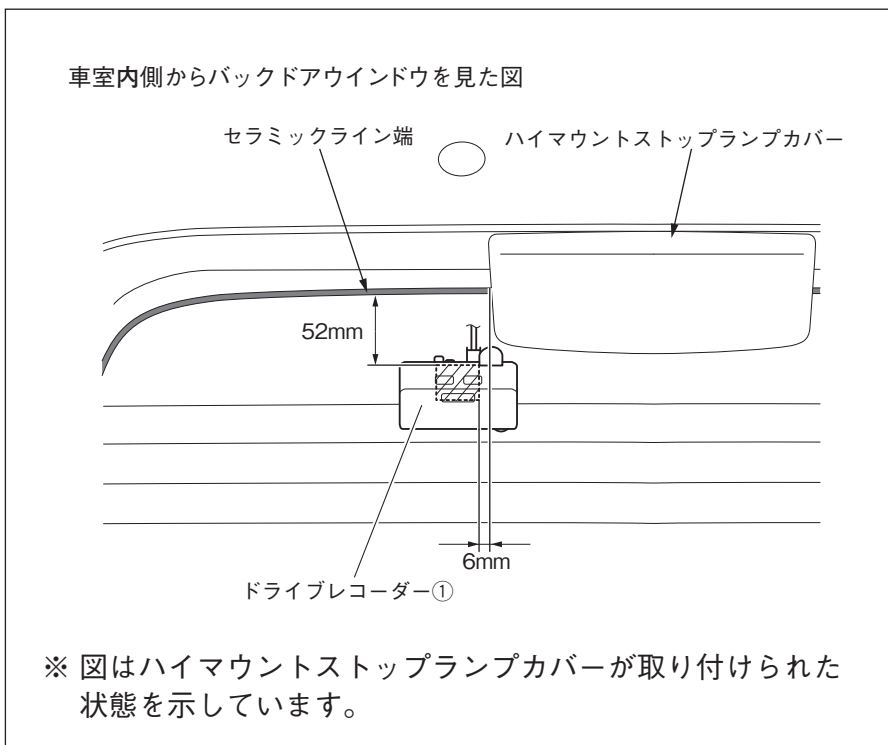
2. 保護シート⑨を左図のようにカットします。
  - F：電源ケーブル②巻き付け用
  - G：エッジ保護用

### c. 電源ケーブルの準備



1. カットしたクッションテープおよび保護シートを左図のように貼り付けます。

### d. ドライブレコーダーの貼り付け



1. 貼付面の油汚れなどをきれいに拭き取ります。

#### ▲ 注意

ドライブレコーダー①を貼る面の油汚れなどをクリーナー⑪できれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

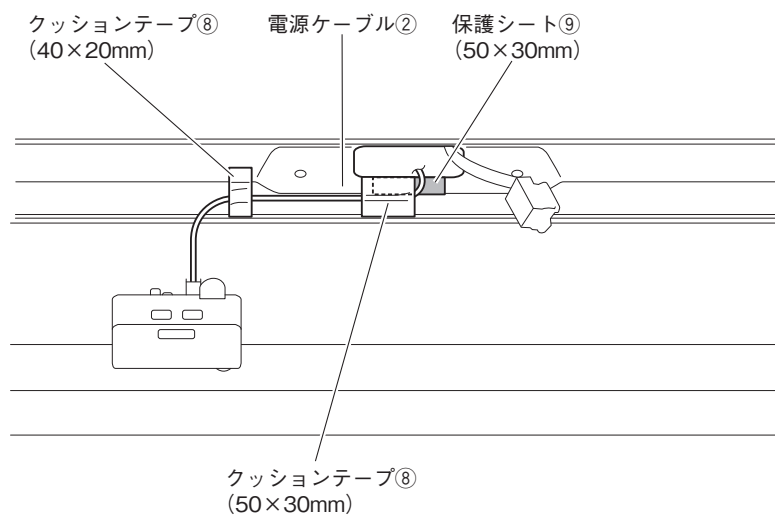
2. ドライブレコーダー①を両面テープでバックドアガラスの左図の位置に取り付けます。

#### ▲ 注意

- ・ドライブレコーダー①取り付けの詳細は、共通編の「■ドライブレコーダーの取り付け」を参照してください。
- ・リヤデフォグの熱線の上に両面テープの粘着面がかからないようにしてください。

## e. 電源ケーブルの配線

### <バックドアガラス上部の配線>

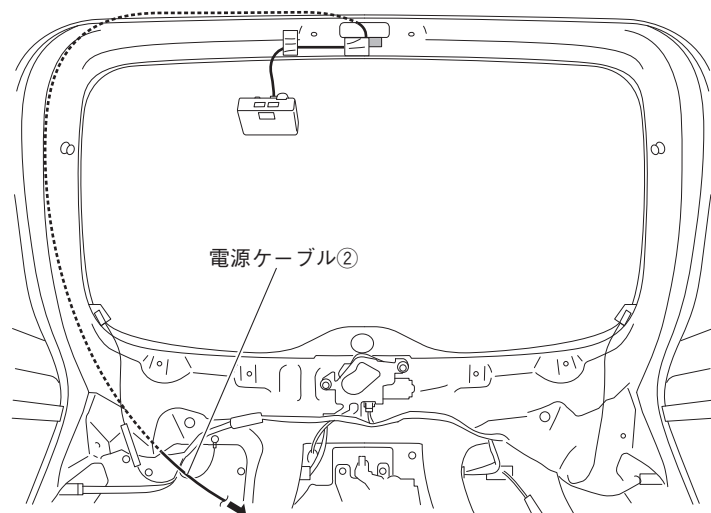


1. 電源ケーブル②をクッションテープ⑧で固定しながら配線します。

#### ⚠ 注意

板金エッジ部に保護シート⑨を左図のように貼り付けてください。

### <バックドアガラス上部～バックドアガラス下部の配線>



2. 電源ケーブル②を針金等を使用してバックドアパネル内へ配線します。

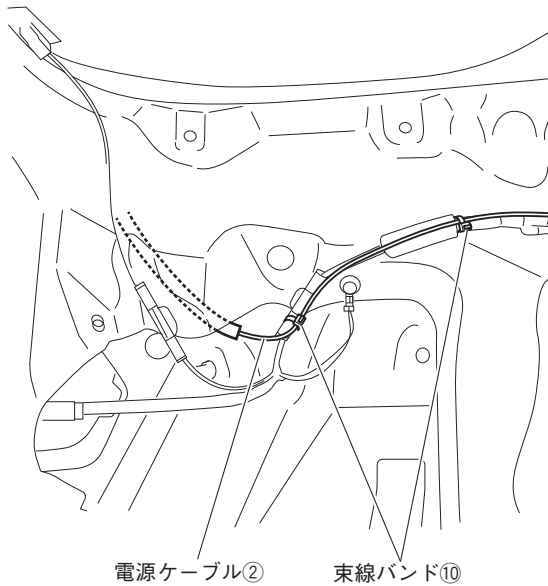
#### ⚠ 注意

針金等を使用する際は、車両に傷を付けないでください。

#### 👉 アドバイス

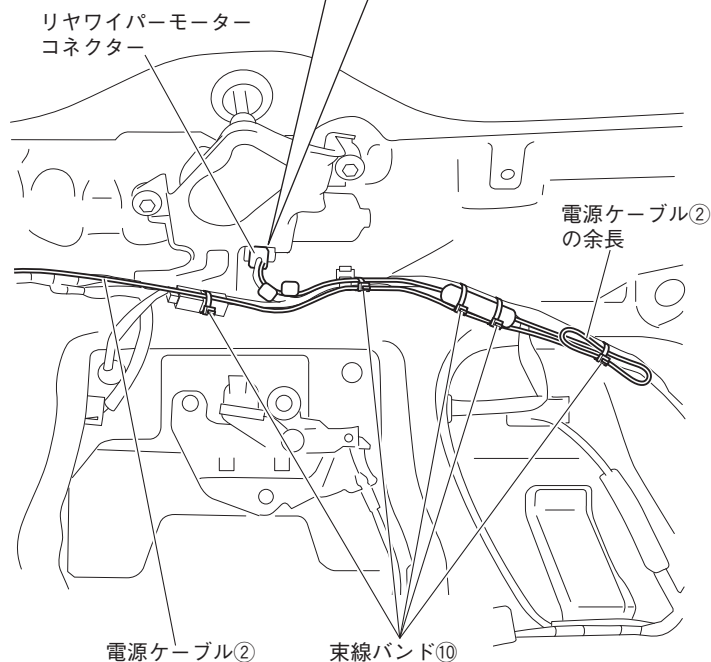
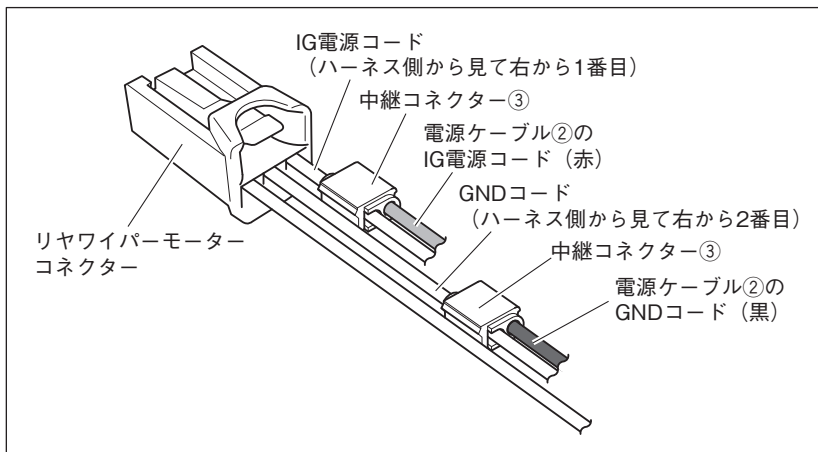
樹脂製の配線通し工具（市販スムーズロッドなど）の使用をお勧めします。

### <バックドアガラス下部の配線>



- 電源ケーブル②を車両ハーネスに沿って配線し、束線バンド⑩で固定します。

### <バックドアガラス下部の配線>

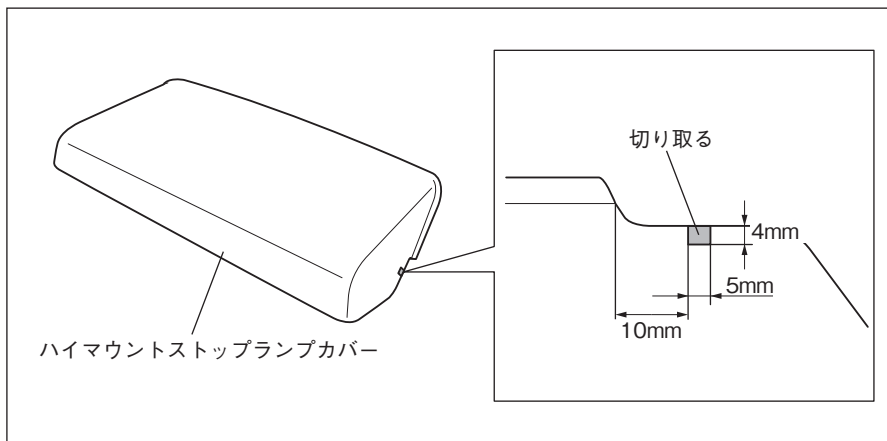


- 電源ケーブル②をリヤワイパーモーターコネクタ部まで配線します。
- リヤワイパーモーターコネクタ (白色) のIG電源コードに電源ケーブル②のIG電源コード (赤色コード) を中継コネクタ③で接続します。
- リヤワイパーモーターコネクタ (白色) のGNDコードに電源ケーブル②のGNDコード (黒色コード) を中継コネクタ③で接続します。

#### ▲注意

- 2分割されている電源ケーブル②を共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- 電源ケーブル②の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- 中継コネクタ③の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用方法」を参照して接続してください。

- 電源ケーブル②を、束線バンド⑩で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。



8. ハイマウントストップランプカバーを左図のように加工します。
9. 加工部のバリなどをヤスリ等で整えます。

**▲注意**

ハイマウントストップランプカバーに傷を付けないでください。

## 5. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。
  - 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
  - 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。  
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
  - オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。
- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。